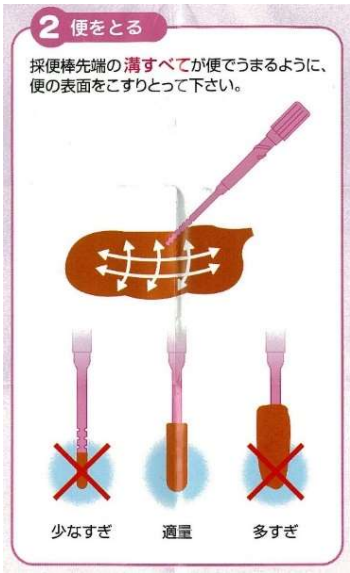
ピロリ菌検査（20歳以上）

＜採取方法＞

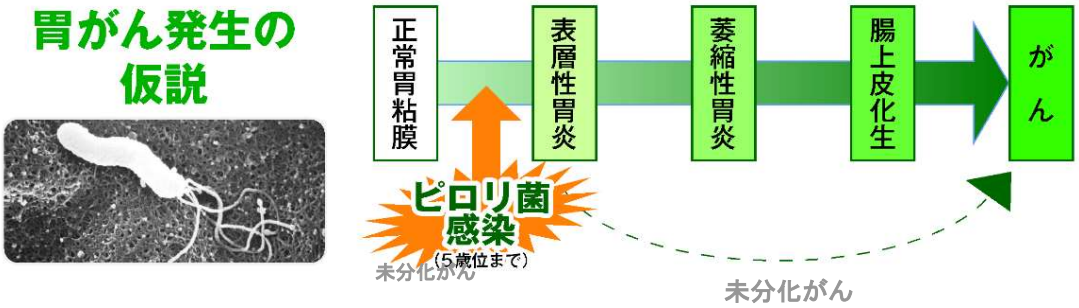
- １日分の便を採取します。



便中のピロリ菌抗原を検査します。
胃がんを引き起こすピロリ菌感染の有無を調べます。
除菌判定にすぐれています。
（除菌判定には、除菌治療後4週間以降経過後に採便してください。）

※ピロリ菌検査は7～9月は検査できません。
検体の返送は6月までか、10月以降になります。

胃がん　「ピロリ菌」感染が胃がんを引き起こします



ピロリ菌とは？

胃に住みつく細菌で、主に幼少期（5歳くらいまで）に感染し、感染は生涯持続します。大人になってからの感染はほとんど無く、除菌しない限り無くなりません。最近の研究で、胃がん・十二指腸潰瘍の原因菌とされています。

胃がん予防としてのピロリ菌治療！

胃がん予防としてのピロリ菌除菌治療が、胃・十二指腸潰瘍などに加え、「胃炎」にも保険適用されます。（ただし、保険適用のためは内視鏡による確認が必須です。）